



# 田川地区平和センター

鶴岡市泉町8番57号 TEL 0235-22-1776 FAX 0235-22-1973 URL <https://ta-heiwa.com/>

編集発行  
田川地区平和運動推進  
労働組合センター教宣部



荘内日報 2021年3月13日

## 脱原発

### 脱原発、原発再稼働に反対、「核と人類は共存できず」 憲法の理念に基づき、安心・安全に生きる権利の保障を！

#### 脱原発に、原発事故を風化させず、被害者の支援を

2011年3月11日の東京電力福島第一原発事故から、10年がたちました。田川地区平和センターは市民団体と連携して「さよなら原発 田川地区市民集会」を開催しました。

原発事故から10年が経ちましたが、いまだに多くの人々が故郷を奪われたまま、厳しい避難生活を余儀なくされています。事故の収束も見えないまま、今また放射能汚染水を

環境に放出し、福島の家や大地を再び放射能で汚染し、これまでの復帰へ向けた努力が水泡に帰されようとしています。これ以上福島を放射能で汚染させてはなりません。

原発事故後、すべての原発は停止していましたが、西日本から再稼働し、東日本でも女川原発、柏崎刈羽原発が再稼働しようとしています。が、柏崎刈羽原発は、東京電力の不祥事と隠蔽が次々を明らかにし、年内稼働が白紙になりました。「核と人類は共存できず」、脱原発に向け行動しましょう。

### 「さよなら原発」訴え

#### 鶴岡で市民集会 市役所前で座り込み



脱原発を訴える「福島原発事故から10年 さよなら原発 田川地区市民集会」

11日、鶴岡市役所前で約50人が参加し座り込み活動を行った。写真。

田川地区平和センターと医療生協やまがたを主体とした実行委員会が主催し、呼び掛け人を代表して医療生協やまがたの阿倍誠也常務があいさつ。皆川治市長が「自然災害の多いわが国の特性から再生可能エネルギーの最大限の導入を図り、可能な限り原発依存度を低減すべきと考える」と述べた。

#### 参加者4人がリレートークでそれぞれの思いを訴えた。

東日本大震災の際、鶴岡市内で被災者の一時避難を受け入れてきたボランティア団体「フクシマ子どもを守る家」のメンバーは「10年前の今日、東日本大震災の津波で、『絶対安全だ、事故など起きない』と言われた原発で事故が起き、福島の人たちは着のみのままに散り散りになっていった。こんな危ないものを未来に残してはいけない。さよなら原発に声を上げ続けていこう」と呼び掛けた。

### 田川地区平和センター 新役員体制(交代・役職変更)

よろしくお願いします

議長	荒井 滋 (庄内ユニオン)
副議長	船見 信一 (県職連合)
"	本間 裕和 (鶴岡市職労)
"	大沼 靖司 (県教組)
事務局長	本間 悟 (全水道労組)
事務局次長	林 達也 (庄内町職労)
幹事	五十嵐 浩 (庄内町職労)
"	佐藤 博幸 (鶴岡市職労)
"	門脇 史紘 (三川町職労)
"	太田 智満 (県職連合)
"	伊藤 慎哉 (鶴岡市職労)
"	松本 晃一 (高教組)
"	千葉 創太 (労金労組)
会計監査	木村 知弘 (県教組)
"	二瓶 瑠菜 (労金労組)

#### 沖繩慰霊の日

・映画の集い

6月23日は、「沖繩慰霊の日」です。田川地区平和センターは、市民団体と連携して沖繩慰霊の日、映画の集いを検討しています。映画は、「ちむぐりさ菜の花の沖繩日記」。石川県から那覇市のフリースクールへやってきた坂本菜の花さん15歳が、沖繩ではずっと「戦争」が続いていることを肌で感じとって行く物語です。「チムグリサ」は「あなたの想いを受けて私の心も苦しい」「胸を痛める」という意味。

#### 新役員体制(役員交代・役職変更)について

田川地区平和センターに加盟する各単組で役員の変更があり、そのため田川地区平和センターも役員交代・役職の変更がありました。高橋岳人事務局長(県教組)、押井真吾(高教組)、小田島和也幹事(労金労組)が退任し、事務局長に本間悟事務局次長(全水道)、幹事に松本晃一(高教組)、千葉創太(労金労組)が就任しました。また、事務局次長に林達哉副議長(庄内町職労)、新副議長に大沼靖司(県教組)が就任しました。幹事会で承認されましたが、機関会議での報告・承認が必要であり次期単組代表者会議で行います。

《東北労働金庫鶴岡支店》  
生活応援バンク **R** りょうきん  
鶴岡市末広町1-12 TEL22-3147  
労働者のための、ふれ愛バンクです

こくみん共済 coop <全労済>  
共済 ショップ 鶴岡  
鶴岡市泉町8-73 TEL 23-6100  
全国労働者共済生活協同組合連合会

いつまでも住みつづけられるまちづくりをめざして!  
生活協同組合 共立社  
COOP 本部 鶴岡市宝田一丁目3-23  
TEL0235-22-5110 FAX23-9148